

# Effectiveness of Saireito for improving swelling of lower extremities after total hip arthroplasty

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2024-06-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 葉子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003636">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003636</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2829 号

Effectiveness of Saireito for improving swelling of lower extremities after total hip arthroplasty

柴苓湯による人工股関節全置換術後の下肢腫脹軽減効果の検討

伊藤 葉子 (いとう ようこ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、人工股関節全置換術 (Total Hip Arthroplasty:THA) 後の腫脹軽減に関して、柴苓湯の有用性を明らかにした。術後の下肢の腫脹は、疼痛やリハビリテーションの停滞を引き起こし、早期退院を阻む可能性がある。柴苓湯を使用することで術後の下肢腫脹の軽減につながる可能性が示唆された。

**【新規性、創造性】** 柴苓湯を用いた THA 後の下肢腫脹軽減効果を検討した先行研究は、どれも報告例が少なかったため、本研究では症例数を増加した。また、下腿周囲径の腫脹軽減効果の検討を行った報告は散見されるが、大腿部周囲径への効果の検討はされていなかった。

**【方法・研究倫理】** 当科で THA を行った 212 例を対象に柴苓湯非投与群 (A 群)、投与群 (B 群) に分け、生化学所見、腫脹と疼痛の Visual analogue scale (VAS)、術前・術後の下肢周囲径の変化率を調査した。統計解析は unpaired t 検定を用い、p 値は 0.05 未満を有意差ありとし、解析ソフトは EZR を使用した。また順天堂医院臨床研究審査委員会の承認を受け研究を行った。(jRCT1031180384)

**【学術的意義】** 術後 14 日目までの採血において、CRP、Hb、D-dimer は両群に有意差を認めず、術後血栓の発生にも有意差を認めなかった。また、VAS での疼痛と腫脹にも両群に有意差を認めなかった。術後 7 日目の下肢周囲径はいずれの部位でも両群に有意差を認めなかったが、術後 14 日目の下肢周囲径の変化率は、大腿部にて A 群の平均  $-8.41 \pm 30.3\%$  に対し B 群が  $-18.9 \pm 40.1\%$  ( $p=0.032$ )、2 下腿最大部でも A 群の平均  $-9.3 \pm 29.8\%$  に対し B 群が  $-19.0 \pm 40.1\%$  ( $p=0.046$ )、そして下腿最小部でも A 群の平均  $-7.3 \pm 30.6\%$  に対し B 群が  $-17.4 \pm 41.0\%$  ( $p=0.044$ ) と、B 群が A 群よりも有意に改善した。柴苓湯投与によると思われる明らかな副作用は、両群間ともに投与期間中には認めなかった。以上より、柴苓湯は THA 術後の下肢腫脹が早期に軽減させ、早期退院につながる可能性が示唆された。

**【考察・今後の発展】** 柴苓湯による THA 術後の下肢の腫脹軽減効果が示唆された。今後は人工膝関節全置換術後への効果を検討予定である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。